

かすかに残る史跡を訪ねて

9kmコース

廃線コース

コンセプトポイント



1 野口駅跡

1913年、播州鉄道の北在家駅として開業し、1914年に野口駅と改称した。その後、別府鉄道野口線が開業し、野口駅は播州鉄道と別府鉄道の接続駅となった。1945年、時代の流れにより一時休止を余儀なくされた。その後営業を再開したが、運行本数が少ないことや国鉄山陽線などができたことにより、惜しまれつつも廃線となった。

チェックポイント 駅の跡には、線路や車輪、駅名標が残されており、当時の様子をうかがい知ることができる。



2 松風こみち

別府鉄道のレール跡地に作られた道で、全長は約3km。市の木である「黒松」と、市の花である「つつじ」で彩られた歩行者・自転車の専用道で、加古川市の官庁街から住宅街を経て臨海部へ続いている。途中休憩所や公園があり、ゆったりと歩くことができる。100m毎に距離標があり、歩きやすい道となっている。

チェックポイント ところどころ地面に当時のレールが残っている。



3 円長寺駅跡

別府鉄道の駅跡。1931年、三岐鉄道の「キハ5」として日本車輛で製造された気動車が残っている。車両は、1964年に別府鉄道が三岐鉄道から譲り受けた後、主に野口線で使用された。車両としての役目を終えた現在は公園内で静かに佇んでいる。

チェックポイント 当時の運行表もそのまま残されており、当時の列車の運行状況を知ることができる。



よりみちポイント

- A** スタート・ゴール地点 野口公民館
- B** 鹿児の庭
- C** 松風ギャラリー
- D** 鶴林寺
- E** 聖陵山古墳

- 【凡例】
- モデルコース
 - 1** ~ **3** コンセプトポイント
 - A** ~ **E** よりみちポイント

©That's & Trial 2010

